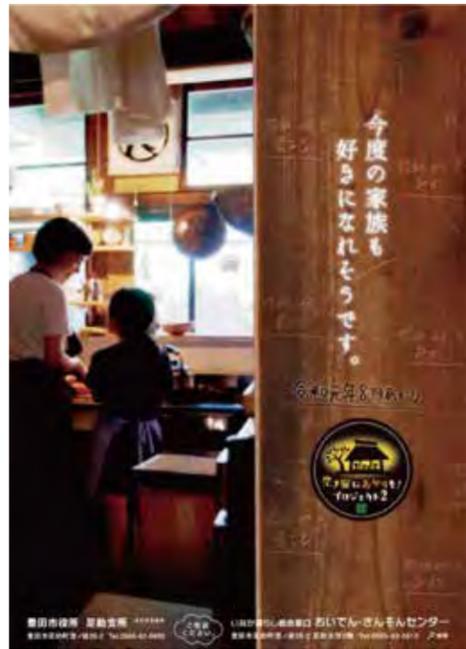


おいでん・さんそんSHOW

2月号
2021.02.01発行



YouTube番組「家主さんの悩みを解決!空き家活用のススメ」収録の様子



令和元年度に作成したポスター

特集「YouTube番組と移住促進ショートムービーを制作 コロナ禍でも「空き家にあかりをプロジェクト2」継続

空き家にあかりをプロジェクトのこれまで

「いなか暮らし総合窓口」として総合的に移住定住のサポートを行うおいでん・さんそんセンターは、平成28年の8月から「空き家にあかりをプロジェクト」をスタートさせました。東京や大阪など大都市に向かつて「わが町への移住を」と呼びかけるのではなく、移住者を受け入れる山村地域へのキャンペーンに力を入れてきました。「移住者受入れスタートガイド」の作成、山村地域向け出前講座の開催、機運を高めるための車用ステッカーの配布、定住委員を後押しするためのポスターの掲示などに取り組みました。

令和元年度からは、「空き家にあかりをプロジェクト2」を実施。これから空き家になるかもしれない「家」に着目しました。家が住み継がれる。この明るいミライを描くためには、現在まさに山村地域の家にお住まいの方が、最期まで充実した暮らしをすること、安全な暮らしを続けられるよう住環境を整

センター長のミライのフツツに向かって!

vol.74
マイブーム

センター長 鈴木辰吉

マイブームは？と問われれば「草刈りと薪仕事」と答える。田舎暮らしの私の余暇は、夏は草刈り、冬は薪仕事に大半が費やされる。結構過酷で、汗もかき危険も伴う。

仕事だが楽しくて仕方がないから趣味でもあり、マイブームなのだ。寂しい人生と心配の向きもあろうがご無用、草刈り後の美しい田園風景を、薪ストーブのチロチロ

とたなく、炎を愛でながら飲むビール。うまさ、60代も終わりに近い自分にとって何にも代えがたい至福の時である。この幸福を子や孫の高齢期に残してやれるのだろうか。先人がそつしたように、残すことこそ今を生きる自分たちの使命なのではないか。

世界が10年後、2030年の達成を目指す持続可能な開発目標SDGsの背景の一つであるWWF「世界自然保護基金」が推奨したエコロジカル・フットプリント（人類が地球環境に与えている「負荷」の大きさを測る指標）は、許容量地球1個分の1.7倍でこのままの自然資源消費を続ければ、人類を含む生物の子孫が生きられなくなるという衝撃的なものがあった。

過疎が進行して消滅に向かう集落を、英知を集め自治を取り戻し、次代に繋ぐことができたとしても、地球規模での環境破壊を修復することができなければ、元も子もないのである。

SDGsは、拡大膨張競争対立の近代から安定、平和と支え合いのミライに舵を切る試金石なのだと思う。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）は、本気を出さない人類への警告かと心配してしまっ。孫が孫のミライを思いながら、マイブームの草刈りと薪仕事を楽しむ集落を、地球を残したいと思っ。

イベント情報

仕事と暮らしが重なる働き方をしてみませんか？ (一社)おいでん・さんそんが職員を募集

「つながる力でミライを変える」をミッションに、豊田市おいでん・さんそんセンターを運営する一般社団法人おいでん・さんそんは下記のように職員を募集します。(一社)おいでん・さんそんでは、職員がそれぞれの得意分野や特性を活かし、自分自身も感じている暮らしや社会の課題解決に向けて仕事をしています。そんな「仕事と暮らしが重なる」働き方を実践したい方の応募をお待ちしています。

- 勤務開始 | 2021年4月(予定)
- 募集職種 | コーディネートスタッフ
- 主な仕事内容 |
 - *都市部企業と山村地域の交流コーディネート
 - *いなか暮らし総合窓口としての相談業務
 - *集落活動(草刈等)を支援する都市部のボランティア養成・派遣

●採用人数 | 1名

●採用スケジュール | 【第1次選考】書類選考を行い、結果を2021年2月26日(金)までに応募者全員に通知します。【第2次選考】第1次選考合格者を対象に、2021年3月12日(金)前後に豊田市において面接選考を行います。日時、場所等詳細は、1次選考結果を通知する際にお知らせします。(面接の際の交通費等の経費は、応募者の負担となります。)選考の結果は、3月下旬までに文書で通知します。

●応募 | 【申込受付期間】2021年1月29日(金)～2月19日(金) 【応募書類】申込書、運転免許証のコピーを提出してください。(申込書の様式は、おいでん・さんそんセンターホームページからダウンロードできます)

●提出先・方法 | 【提出方法】メール添付または郵送してください。【提出先】〒444-2424 愛知県豊田市足助町宮ノ後26番地2 おいでん・さんそんセンター mail:sanson-center@city.toyota.aichi.jp

●オンライン説明会 | 下記のとおり説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。QRコードまたはURLから専用フォームでお申し込みください。

https://forms.gle/kSYc1X6zBPJmJg8b6

【日時】2021年2月13日(土)10:00～1時間程度

【方法】お申し込みいただいた方に、Zoomウェビナーのご招待リンクをお知らせします。

- その他 | 採用についての詳細は、センターホームページをご覧ください。
- 問合せ | おいでん・さんそんセンター 西田・木浦
電話0565-62-0610 mail:sanson-center@city.toyota.aichi.jp
HP: https://www.oiden-sanson.com



セカンドスクール2021春フリー版 申込受付中

足助 足助の萩野(はぎの)の子になっちゃおう

足助の東に、萩野(はぎの)という田舎の集落、田んぼ、川、山があります。そんなところに来てみませんか?自然がいっぱいで、すてきな小学校もあります。小学生のきみも、ご家族もそんな萩野を好きになってもらえたらうれしいな!

日時 2021年3月26日(金)雨天延期
 体験場所 豊田市足助地区萩野自治区
 定員 3家族まで(1家族で開催します)
 参加費 何人でも1家族3,000円
 対象 小学生とその家族(一人以上)
 集合・解散 豊田市立萩野小学校の北側駐車場
 午前9時30分集合午後3時解散
 内容 田んぼ体験、田舎のお家でごはん、野草つみ・天ぶら、田舎の小学校訪問
 応募締切 2021年2月28日(日)
 応募・問合せ 豊田市桑田和町日面71-1
 山本薫久
 mail sigekayo@docomo.ne.jp
 TEL 090-5453-6411
 応募方法 メールにて以下の内容を書いてお申し込みください。
 氏名・住所・小学校名・学年・性別・保護者の方の連絡先(TEL)

稲武 いなぶの山の中で思いっきり楽しもう! 「山のこどもになる!」

稲武の山、城ヶ山に登ります。天気によければ、すばらしい景色に会えるよ。山の中で木の実などクラフトの材料を拾って下山後、木の実のブーケを作ります。おやつには焚火で焼き芋作ろう!

日時 2021年3月30日(火)小雨決行
 体験場所 豊田市稲武地区 城ヶ山ほか
 定員 20名(最少催行人数10名)
 参加費 5,000円(バス送迎付き、お弁当持参)
 対象 小学校3~6年生
 集合・解散 名鉄豊田市駅
 午前8時30分集合午後5時解散
 内容 城ヶ山登山と木の実のブーケづくり
 応募締切 2021年2月28日(日)
 応募・問合せ 豊田市夏焼町ヤガ子471-1
 山里ちゃふえ 仁熊信子
 mail yamazatocyafe@s4.dionon.ne.jp
 TEL0565-83-3003又は080-3111-8953
 応募方法 メールにて以下の内容を書いてお申し込みください。折り返し返信します。PCメールですので、必ず上記アドレスを受信可能にしておいてください。
 氏名・住所・小学校名・学年・性別・保護者の方の連絡先(TEL)



以前実施したセカンドスクールの様子



豊田市でも山村地域移住への興味・関心が高まっている傾向が見られます。豊田市役所地域支援課の調べによると、山村地域移住情報バンクのホームページへのアクセス数、同バンクへの利用者登録数は、前年度に比べて多くなっているそうです。

「移住への興味関心が高まっている」と、令和2年度に入り、新型コロナウイルスの影響が開始されました。内閣府が5月下旬から6月上旬に実施した調査では、東京圏に暮らす20代の約3割が地方移住への希望が「高くなった」か「やや高くなった」と回答しているそうです。

「空き家にあかりをプロジェクト2」を継続していくための企画を考えました。

また実際に同バンクを通じて移住した人の数はどうかというところ、令和2年4月から12月までの8ヶ月間の移住者数が69人、移住世帯が37世帯でした(地域面談で入居が決定した件数、移住ではない事業利用する件数も含む)。こちらも昨年度の年間実績、移住者数67人、移住世帯25世帯と比較してみると、すでに超えていることが分かります。

家主さんの悩みを解決 YouTube番組

一つは、YouTube番組「家主さんの悩みを解決! 空き家活用のススメ」の制作と配信です。

空き家が貸し出されない理由として、家主さんが悩みを抱えていることが挙げられ、それが解決することで、登録物件が増加することが考えられます。

そこで、そんなお悩みに一問一答していくのが、このYouTube番組です。「そもそも古い家を借りる人がいるのか」、「仏壇があるから貸せない」、「家を大切にしてくれる人に貸したい」、「貸さずにいるとデメリットがあるのか」などのお悩みに対して、その分野に通じたゲストが回答していきます。



左がYoutube番組司会の里園侑希さん

もう一つは「移住促進ショートムービー」の制作です。いなか暮らしを考えている方に、豊田市にも山村地域があることを知って欲しいと企画しました。このムービーでは、足助、旭、下山、小原、稲武地区から1家族ずつ、実際に空き家に移住してきた方に撮影してもらっています。



移住促進ショートムービーで撮影させていただいた小原地区の家

「目ぼれた家に暮らす大工」、「古老とつながる料理屋」、「山のアトリエの花師」、「人をつなぐ庭師」、「山里を守りたい脱サラ夫婦」、それぞれに魅力的な暮らしを送る皆さんのインタビュービュー風景や、ドローンで撮影したお宅の様子が分かるショートムービーです。こちらは現在制作真っ最中につき、完成についてはホームページやフェイスブックページでお知らせします。

コロナ禍だからできないのではなく、できることを考えた結果の2つの企画です。どうぞお楽しみに!(木浦幸加)

